

札幌三角山放送局「月刊わっさむ」

札幌にまちの元気情報を発信



vol 4

町では“自然の恵み野わっさむ町”の情報を札幌市民に向け発信し、交流人口の拡大と将来の移住・定住人口の拡大を目的として昨年4月から札幌三角山放送局で「月刊わっさむ」の放送を開始しました。「月刊わっさむ」は毎月第4火曜日午後1時～1時30分（30分間）で放送され、放送された内容について広報誌でお知らせします。

札幌三角山放送局って？

- ①三角山放送局とは・・・平成10年4月に札幌市内で3番目に開局し地域に密着したラジオ局です。
- ②放送地域は・・・・・・札幌市西区及び周辺地域（西区4/1現在人口：211,286人、世帯数：96,752世帯）
- ③放送を聴くには・・・和寒ではインターネットにより視聴できます。【三角山放送局で検索し、インターネット放送視聴又は放送スタジオよりライブ配信がされています】
札幌で聞くには周波数：FM 76.2MHz

「月刊わっさむ」第7回放送 わっさむ担い隊がゲスト出演

10月25日（火）第7回放送では、わっさむ担い隊として活動されている桐生一樹さん、中野利樹さんがゲスト出演しました。

2人は、担い隊になったいきさつや活動内容などについて紹介するとともに、和寒町の魅力について語りました。

今後の和寒町について聞かれた中野さんは「若い人が少なくなっている。地元の人と一緒に色々なことを企画して、和寒に残りたいと思えるまちにしたい」と語り、桐生さんは「和寒はとても住みやすく自然豊かなところ、声をかけてもらえば力になります」と和寒移住を力強く呼びかけました。



「月刊わっさむ」第8回放送 荒井敏一キャベツ部会会長がゲスト出演



11月29日（火）第8回放送では、荒井敏一キャベツ部会会長がゲスト出演し、和寒の「越冬キャベツ」をPRしました。

越冬キャベツ誕生の秘話や、なぜおいしいのかをお話しし、「生でも、鍋に入れてもおいしいパーフェクトな食材」とPR。スーパーで和寒の越冬キャベツがあればぜひ購入をと呼びかけました。

また番組後半には「キャベツ10Kgを5名のかたに」とサプライズプレゼントを提供していただきました。キャベツには多数の応募があり、後日当選者のかたに発送されました。

「月刊わっさむ」第9回放送 体育協会職員 渡邊道太郎さんがゲスト出演

12月27日（火）第9回放送では、和寒町体育協会の渡邊道太郎さんがゲスト出演し、研修館「楡」と東山スキー場について紹介、また、自身が長年取り組んでいるクロスカントリースキーや少年団コーチの話も語っていただきました。

「普段ふざけている子が大会で真剣な顔をしているのを見るのがうれしい」とコーチとしてのやりがいを語る渡邊さん。

研修館楡と東山スキー場についてもPRし、「和寒に来てウィンタースポーツを楽しんでみませんか？ぜひお越しください！」と来町を呼びかけました。

